

シンポジウムのアウトプット

本シンポジウムでは、生物多様性条約・第14回科学技術助言補助機関会合で検討が予定されている事項に基づく下記の設問に対して、各々の講演者が言及する予定です。

設問

1. 生態系サービスの供給における生物多様性の重要性は、どのようなものか？
2. 生物多様性と生態系の回復力や抵抗力との関係に関する学説の信頼性はどの程度であるか？ 環境変化や管理に対する森林の回復力はどれくらいのものか？
3. 個々の森林生態系ごとの、持続可能な利用のための生態系の抵抗力や回復力の閾値はどの程度か？
4. 生物多様性条約2020年目標のための、収集可能、もしくはすでに存在しているデータを用いた有用かつ測定可能、再現可能な指標は何か？
5. 生態系保全にとって保全数値目標は有効か？

これらの設問に対しては、名古屋で開催される生物多様性条約第10回締約国会議（CBD/COP10）までに出版予定の本シンポジウムのプロシーディングスの中でも、各々が言及する予定です。

本シンポジウムの成果は生物多様性条約事務局および森林総合研究所が、生物多様性の保全に関わる各種のイベントで利用します。